

過去から学び、未来を拓く

ピース・スピーキングツアー名古屋集会



VETERANS FOR PEACE

形川健一

ジョイ・メツラー

ケム・ハンター

日時: **10月27日** (月)

18:30~20:30

場所: **イーブルなごや 大研修室**

地下鉄名城線「東別院」下車 1番出口から徒歩3分

●ベテランズ・フォー・ピース(VFP)

1985年、米国で従軍経験のある元軍人(ベテランズ)と軍人の家族、およびその賛同者により結成された国際的な平和団体。国連NGOとして認定され、メンバーは全世界に約8000人、支部は140支部存在する。紛争各国での反戦アピールや戦争による経済構造の真相などを世界に訴えている。「戦場のリアル」と「戦争をする国の経済のリアル」通じて平和を作っていきたいと考えている。

参加費:500円

●ケム・ハンター

職業軍人家庭に育ち世界中を転々とする中、日本で高校時代を過ごす。卒業後は海軍の予備役将校訓練奨学金を得てスタンフォード大学に進学し、1967年に卒業。その後ベトナム戦争に2度従軍した後、民間人として消防士となる。1998年にシアトル消防局を退職し、ワシントン大学ロースクールに入学。個人法律事務所を引退後、故郷であるワシントン州インデックス市の市議会議員、市長を歴任。現在は二つの非営利団体でボランティア活動に従事している。ベテランズフォーピースのシアトル支部理事として、世界中の退役軍人と支援者と共に世界平和の実現に取り組んでいる。ピースツリーズ・ベトナム理事会の副会長として、かつての敵対者たちと協力し、ベトナム人と米国人の間に架け橋を築き、戦争の残した傷を癒す活動に取り組んでいる。この活動を名誉であると同時に義務とも捉えている。

●ジョイ・メツラー

2023年に米空軍士官学校を卒業し、最近、良心的不服従で空軍を退役しました。ガザで繰り返されている残虐行為、そしてその虐殺への米国による資金援助と支援を理由に、彼女は米国の加害行為に加担し続けることを拒否しました。現役時代から発言を始め、ニューヨークの中心部で「退役軍人と支援者によるガザのための断食」の活動に参加し、ガザでの虐殺の終結に向けて活動を続けています。コミュニティを大切にし、フロリダ州オーランドで独自の草の根退役軍人団体(反機退役軍人会、@vam_cfl)を設立しました。この団体の目標は、軍人たちに戦争の現実と結果について教育することです。

●形川健一

(なりかわけんいち)

ベテランズ・フォー・ピース(VFP)終身会員VFPジャパン共同代表。大阪出身。高校卒業後27年間海上自衛隊に勤務。2012年アフリカ・ジブチ派遣を機に自衛隊と日本に疑問を感じ2014年依願退職。持続可能な農的暮らしを探し日本・世界各地を巡り、2017年広島県三次市の古民家にたどり着く。田んぼでお米を作ったり、その畔で大豆を育てたり、山から木を切ってきたり消費に頼らない自分で作る暮らし…百姓を目指している。VFPツアーには毎回参加。今年はアメリカで開催されたVFPの総会に参加し、日本全国を周る。

主催:不戦へのネットワーク

TEL. 050-3593-5130

Eメールhusen@jca.apc.org

賛同団体・個人: 東海民衆センター/ガザ緊急アクションなごや/World BEYOND War日本支部
革新・愛知の会/愛知県平和委員会 (10月1日現在)